第16期

株主通信

2012年4月1日▸2013年3月31日

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社　証券コード：9422



P.1 ひと目でわかるITCN

P.2 ごあいさつ

新社長就任と社名変更のお知らせ

P.3 トップインタビュー

社長が語る、新生ITCN（アイ・ティー・シーネットワーク）

P.7 事業がわかるTOPICS

P.9 ～地域社会とともに～ ITCNのCSR活動

P.10 ITCNニュース／IRコミュニケーション

P.11 会社情報／株式情報







ITC Networks

ひと目でわかるITCN

オペレーショナルデータ

販売台数

335万台

業界第2位

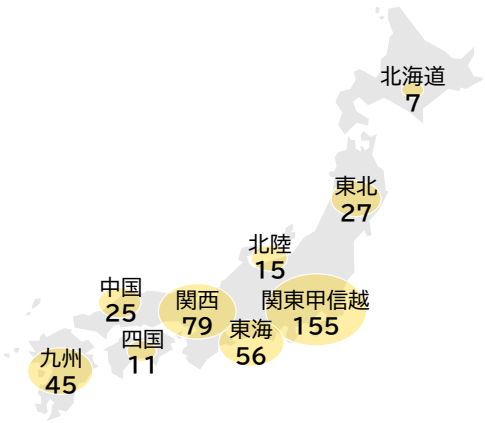
（2013年3月期実績
旧パナソニック テレコム（株）上期販売台数含む）

従業員数

4,344名

キャリア認定ショップ網

420店舗

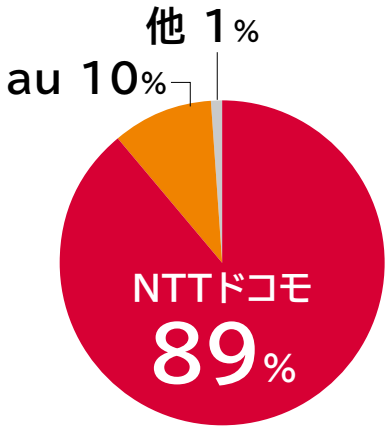


ドコモショップ
運営店舗数

業界第1位



通信キャリア別販売比率



2013年3月期 通期業績

▶▶▶ 詳細はP.3-4をご覧ください。

売上高

2,093億円

前期比 62.6%増

営業利益

59億円

前期比 19.9%増

経常利益

60億円

前期比 20.8%増

当期純利益

30億円

前期比 36.3%増

ごあいさつ

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社は、コネクシオ株式会社に社名を変更します。

株主の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、2013年4月1日付で代表取締役社長に就任いたしました井上裕雄でございます。携帯電話販売業界は、スマートフォン需要による市場の拡大が続く一方で、通信キャリア間の競争も激しく、楽観できない環境が続くものと思われます。この厳しい局面を勝ち抜いていくため、アイ・ティー・シーネットワークのさらなる発展に全力を尽くしてまいる所存でございます。

また、当社は2013年10月1日をもって社名をアイ・ティー・シーネットワークからコネクシオに変更いたします。昨年10月のパナソニック テレコム(株)との合併から今日に至るまで、合併効果の早期創出に向けてさまざまな施策に取り組んでおりますが、新社名、新企業理念の制定は重点項目の一つでありました。新しい会社として、全社一丸となってさらなる飛躍を目指してまいります。



株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2013年6月 代表取締役社長　井上 裕雄

新社名について ▶▶▶

コネクシオ株式会社

コネクシオ（CONEXIO）は、ラテン語の「絆」を語源とします。
コネクシオには、私たちが、お客様一人ひとりの想いを大切につなぐとともに、つながるすべての人々へよろこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めていく、という願いと熱き決意が込められています。

CONEXIO
人をつなぐ、価値をつなぐ

▶▶▶ 詳細はP.4-5をご覧ください。

トップインタビュー



“アイ・ティー・シーネットワークは、さらなる飛躍を目指し、次のステージへと進んでいきます。”

新社長のプロフィール

井上 裕雄（いのうえ ひろお）

1952年生まれ。東京都出身。1975年に早稲田大学理工学部卒業後、伊藤忠商事（株）に入社。36年間、産業電子機器・情報産業関連の業務に携わり、その後1年間、伊藤忠テクノソリューションズ（株）で法人向け保守・運用サービス等を担当。2012年4月より当社副社長 執行役員として法人事業を統轄。2013年4月より当社代表取締役社長に就任。信条は「常に誠実であること」、趣味は史跡巡り、美味しい食事とお酒を楽しむこと。

Q ▶▶▶ 2013年4月より社長に就任されましたが、その経緯や社長に就任されたお気持ちについてお聞かせください。

A ▶▶▶ ステークホルダーの皆様の期待に応え、社長としての重責を果たしていきます。

2012年10月のパナソニック テレコム（株）との合併から半年が経ち、組織の見直しを含めて経営統合を着実に進めてまいりました。これに一定の目処が立ったこともあり、2013年4月1日より代表取締役社長として就任し、新体制に移行することとなりました。

合併した新会社として大きな変革期での就任となり、お客様や約7,000名の社員とその家族、株主ならびに投資家など、あらゆるステークホルダーの皆様の期待に応え、社長としての重責を果たしていかなくてはならないという緊張感をひしひしと感じ、身が引き締まる思いです。

Q ▶▶▶ 2013年3月期の業績についてお聞かせください。

A ▶▶▶ 合併効果と積極的な販売施策により、増収増益を達成しました。

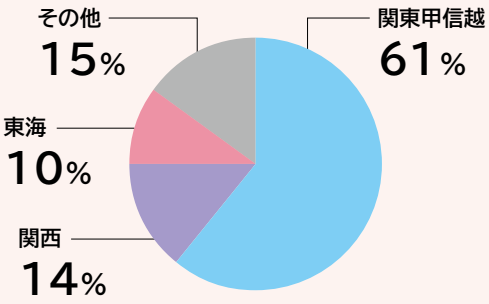
2013年3月期の端末販売市場は、スマートフォンやタブレットの販売が好調に推移し、引き続き拡大しました。また、これまでスマートフォンの普及率が比較的低かったシニア世代やファミリー層、首都圏以外の地域のお客様からの需要が高まっており、市場の変化を感じました。

こうした中、端末販売台数が前期比40.9%増の255万台となり、コンシューマ事業では増収増益を達成しました。合併によって関西・東海を中心にその他の地域においてもキャリア認定ショップ網が拡充し、上手く市場の変化に対応できたものと考えています。また、より多くのお客様がご利用しやすいショップにするための移転や改装効果、業務効率化も奏功しました。

一方、法人事業では合併により顧客基盤は拡大しましたが、企業の投資抑制が続く中、スマートフォンへの買い替えを喚起する効果的な施策・提案が十分にできなかったことなどから、通信キャリアからの手数料の減少を補いきれず、増収減益となりました。

これらの結果、2013年3月期の業績は、売上高2,093億3百万円（前期比62.6%増）、営業利益59億3百万円（同19.9%増）、経常利益60億34百万円（同20.8%増）、当期純利益30億92百万円（同36.3%増）となりました。

地域別販売台数比率



Q ▶▶▶ 新しい社名、新しい企業理念が決定しましたが、決定に至るまでの過程や、それらに込める社長の想いをお聞かせください。

A ▶▶▶ これまでの企業文化も大切にしながら、新たなスタートに向けて邁進します。

新しい社名および企業理念の策定にあたっては、社内で多くの議論を重ねてきました。新しい企業理念には、あらゆるステークホルダーをつなぎ、価値創造の連鎖を生み出していく、そんな想いを込めています。また、従来掲げてきた「主体的に」「フェアに」「誠実に」という考え方は、企業文化の礎であり当社の強みであると捉え、今後も大切にしていきたいと思っています。

新社名については、新企業理念が決定した後に全社員を対象に公募を行い、約1,000件の応募案の中から最終決定いたしました。予想以上の応募総数となり、社員の積極的な参加を大変嬉しく思うとともに、会社に対する熱意を感じずにはいられませんでした。



新企業理念

人をつなぐ、価値をつなぐ

私たちが目指すこと（存在意義）

**私たちは、一人ひとりの想いを大切に、
お客様の感動を生み出し
安心で快適な暮らしと社会の実現に貢献します**

私たちが大切にすること（経営姿勢）

一人ひとりが主役
私たちは、自主・自律する一人ひとりが
互いを尊重し合う環境を育みます

つなぐよろこび
私たちは、自らの成長を原点に、つながるすべての人々へ
よろこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めます

社会を担う責任と誇り
私たちは、暮らしとビジネスのライフラインを担う
責任を深く自覚し、誇りとします

私たちの判断や行動のよりどころ（行動指針）

私たちは、お客様のために

主体的に
自ら考え、自律的に行動し、新しいことに挑戦します

フェアに
高い倫理観をもって公正に行動します

誠実に
感謝を心に刻み、素直な心で行動します

チームワークのもとに
多様性を活かし、高い成果を生み出します

現場を起点に
お客様接点である現場を大切に、発想し行動します

考え、行動します

新社名・新企業理念は、わかりやすく説得性のある、素晴らしいものができたと自負しています。今後は、一日も早く新しい企業理念を社内に浸透させることを目指し、正式な社名変更となる10月には、スムーズに新たなスタートを切りたいと考えています。

Q ▶▶▶ 2014年3月期の業界動向ならびに展望についてお聞かせください。

A ▶▶▶ 市場の拡大を背景に、増収増益を計画しています。

端末販売市場は、引き続き拡大が予想されます。スマートフォン普及率はさらに上昇し、タブレット販売台数も増加が見込まれていますが、同時に、通信キャリア間競争も激化する見通しです。

このような状況下、2014年3月期は合併効果を創出していく一年として、お客様のニーズに応えることに注力し、変化する市場環境をいち早く捉えていく構えです。

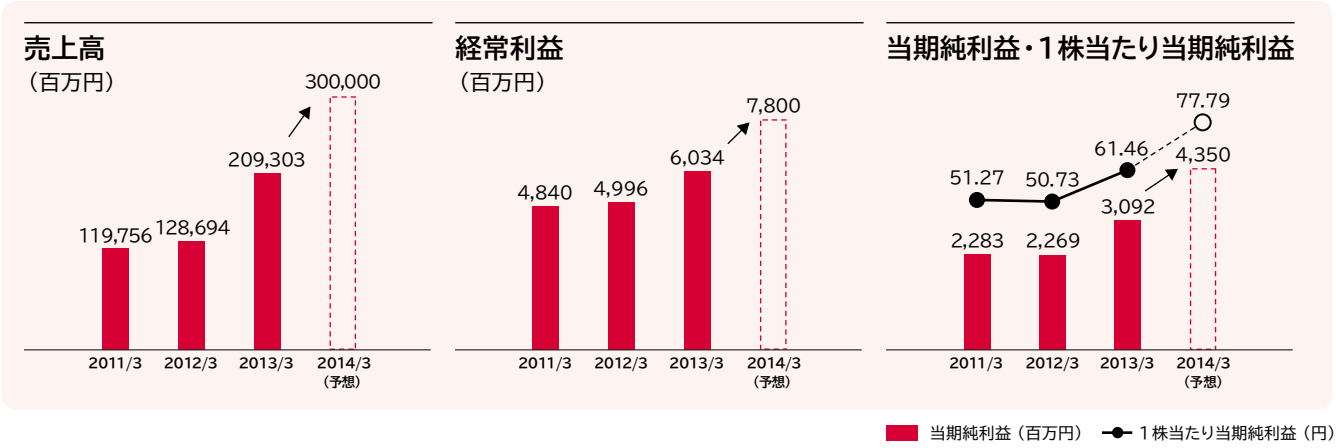
コンシューマ事業では、スマートフォンの販売強化のため、広範な商品知識と説明スキルを持った優秀な人財の育成と確保を進めるほか、お客様の待ち時間短縮への取り組み▶▶▶などを推進し、さらなるES（従業員満足度）とCS（お客様満足度）の向上を目指します。

法人事業では、企業のスマートフォン導入を

促進するべく、提案型営業を強化します。加えて、2012年度より納入を開始した組込用WiMAXモジュールやコンビニエンスストアで売上を伸ばしているPOSAカードには今後の拡がりを期待しています。

こうした取り組みにより、2014年3月期の業績予想は、売上高3,000億円（前期比43.3%増）、営業利益78億円（同32.1%増）、経常利益78億円（同29.3%増）、当期純利益43億50百万円（同40.7%増）を見込んでいます。

▶▶▶ 詳細はP.7-8をご覧ください。



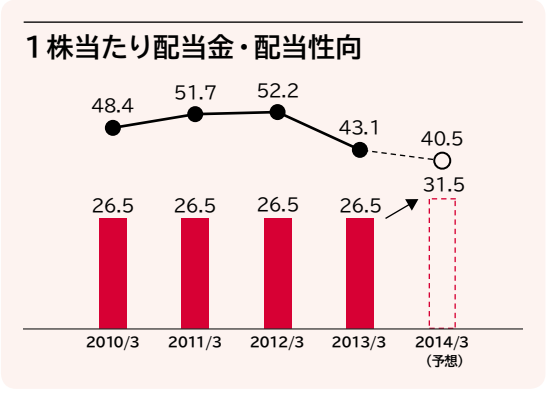
Q ▶▶▶ 株主還元に対する考え方をお聞かせください。また、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A ▶▶▶ 新生ITCNとして、社員一丸となりさらなる飛躍を目指します。

利益配分につきましては、配当性向40%超を基本方針とし、これを堅持していく考えです。2013年3月期は、1株当たり26.5円（中間13.25円、期末13.25円）、配当性向は43.1%とさせていただきました。2014年3月期につきましては、事業規模、収益力の拡大が見込まれることから5円増配し、1株当たり31.5円（中間15.75円、期末15.75円）、配当性向は40.5%を予定しています。

今後もさらなる飛躍を目指し、社員一丸となって不断のチャレンジを続けてまいります。

株主の皆様には、新生ITCNにご期待いただくとともに、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



※2010/3につきましては、株式分割を考慮した数値で記載しております。

事業がわかる
TOPICS

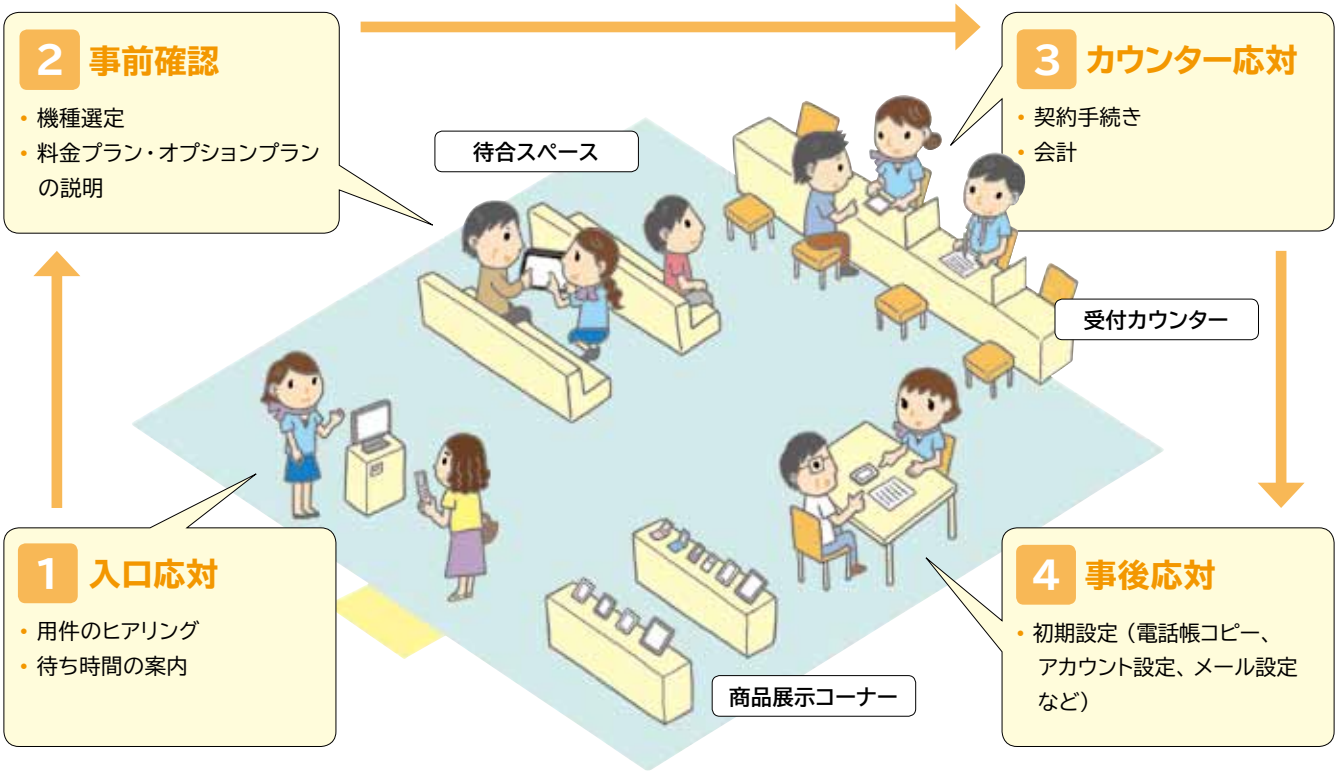
コンシューマ事業

スムーズなスマートフォン販売を推進

スマートフォンは、従来の携帯電話に比べてその機能性から販売時に説明すべきことが多くなります。そのため、お客様一人ひとりへの応対時間が長くなり、結果として来店いただいた他のお客様の待ち時間も長くなりがちです。

この課題を解決するために、当社ショップでは、接客プロセスを「事前確認」、「カウンター応対」、「事後応対」に分けています。「事前確認」では、お客様が来店されてから「カウンター応対」を受けるまでの間に、フロアマネジャーが来店目的などをうかがい、以後の「カウンター応対」が効率的に運ぶよう準備します。その際、一部ショップではタブレットを導入し、より一層スムーズな案内を目指しています。「事後応対」では、従来は「カウンター応対」時に行っていた電話帳コピーなどの各種設定業務を専任担当者が店内の別の場所で行います。

接客プロセスについては随時改善を重ね、CS（お客様満足度）のさらなる向上に向けて取り組んでいます。



カンタン用語解説

スマートフォン：多機能携帯電話。従来の携帯端末にパソコンの要素を多く取り入れ、音声通話以外にもデータ通信機能が充実している。画面が大きいという特徴があり、ボタンではなく画面に直接触れて操作する。

タブレット：画面に直接触れて操作する平板型の多機能情報端末。スマートフォンよりも大画面。

法人事業

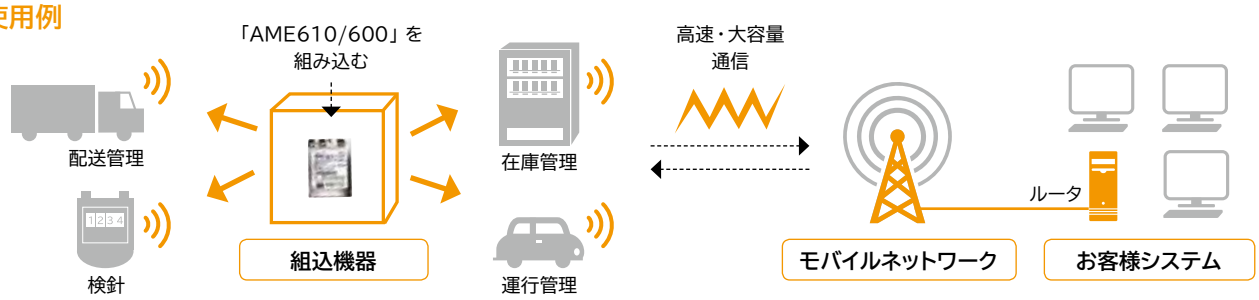
組込用WiMAXモジュール「AME610/600」を発売

2013年3月、高速・大容量通信のWiMAXを利用することができる組込用WiMAXモジュール、「AME610」および「AME600」を発売しました。これは、M2Mコミュニケーションによる業務効率化を図るニーズにお応えするもので、ファイル送受信・運用管理・セキュリティ業務などに効果を発揮します。

また、自動販売機など屋内外問わず設置されている機器に搭載できるよう環境性能を強化しており、さらに「AME610」は無線LANアクセスポイントの搭載により周辺の無線LAN搭載機器のインターネット接続が可能です。



使用例



全国のファミリーマート店舗にPOSAカードを納入

（株）ファミリーマートと（株）ファミマ・ドット・コムと協業のもと、2012年10月より、全国のファミリーマート店舗約9,500店を対象にPOSA技術を利用したプリペイドカード（以下、POSAカード）を合計21種類（※）納入しています。

POSAカードは、店頭でお客様がご希望の商品を実際に手にとって手軽に購入することができます。また、販売店様にとってはレジでの支払いが確定した時点で、カードの有効化と仕入れ計上が同時にされる仕組みのため、店舗での盗難や在庫リスクもなく、積極的なサービス展開が可能となります。

（※）2013年4月現在



カンタン用語解説

WiMAX：高速・大容量のワイヤレスブロードバンド通信の方式の1つ。
WiMAXは、米国 WiMAX Forumの米国およびその他の国における商標または登録商標。

M2M：ネットワークに繋がれた機器が相互に情報交換し、自動的に最適な制御を行うシステム、仕組み。

POSAカード：レジでの支払いが完了した時にはじめて有効になる技術を使用したプリペイドカードのこと。
購入者はカードに印刷された番号をオンラインで入力して使用する。
POSAとはPoint of Sales Activationの略称で、インコム・ジャパン株式会社の登録商標。

～地域社会とともに～

ITCNのCSR活動

秋田県田沢湖畔にて、第６回植樹祭を開催しました。

2012年11月7日、秋田県の田沢湖畔で第６回植樹祭を開催しました。総勢40名が、秋田県仙北市長、(株) エヌ・ティ・ティ・ドコモ 東北支社 秋田支店長とともにスコップを握り、新たに40本の木を植えました。



当社副社長の佐藤の挨拶から始まり、門脇仙北市長、福井ドコモ秋田支店長より祝辞を頂戴しました。



ベニヤマザクラ、ブナ、トチノキ、イロハモミジ、イタヤカエデの5種類を植えました。



山を下りて記念撮影。植樹した木々の春の開花、秋の紅葉を心待ちにして。

これまでの植樹活動の実績

植樹活動はパナソニック テレコム（株）が開始し、当社が引き続き行っているもので、環境・社会貢献活動を通じ、地球温暖化問題の課題であるCO_2削減に貢献することを目的に取り組んでいます。今回40本を植樹したことにより、これまでの植樹実績は合計で200本を越えました。

第1回（2008年 10月）
12本／歩道整備、看板設置

第2回（2009年 10月）
24本／歩道整備など

第3回（2010年 10月）
50本／植林用地の拡大、山頂までの歩道整備、看板設置

第4回（2011年 10月）
40本／歩道整備

第5回（2012年 5月）
40本

第6回（2012年 11月）
40本

合計
206本

ドコモショップ秋田東店のご紹介

当店は秋田駅東口から徒歩10分。窓口スタッフ18名、年間販売台数6,500台と秋田市内では一番大きな店舗で、18歳～60歳の幅広い年齢のスタッフが「一客一善」をスローガンに日々頑張っています。5名の既婚女性が働く、女性が活躍できる環境でもあり、地域で愛されている老舗店舗です。

■ ショップ情報

住所　〒010-0003　秋田県秋田市東通2-1-7
電話番号　0120-289-710 ／ 018-837-6868
営業時間　10：00 ～ 19：00
定休日　無休



店舗外観

ITCNニュース

新企業理念策定のワークショップを開催

当社は、2012年10月のパナソニック テレコム(株)との合併に伴い、両社が真に融合し、さらなる成長を目指していくために、統合新会社にふさわしい企業理念を策定することといたしました。選抜社員と役員がそれぞれワークショップを重ねて、両社に共通する価値観で今後も承継していくべきことを明確にし、両社の社員が新会社に抱く想いを集め、ひとつのかたちにまとめました。

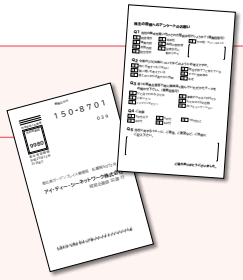
▶▶▶ 詳細はP.4-5をご覧ください。





IRコミュニケーション

株主様アンケートにご協力をお願いします



当社では、株主の皆様のご意見、ご要望を今後のIR活動に活かしていきたいと考えています。
第15期の株主様アンケートでは、620件のご回答をいただきました。
ぜひ、同封のはがきにて、アンケートへのご協力をお願いいたします。

IRメール配信サービスを提供しています

投資家の皆様にタイムリーに開示情報をご提供するために、最新のニュースリリースやホームページの更新情報などを、あらかじめご登録いただいた電子メールアドレスに配信しています。

IRメール配信サービスのご登録は

http://www.itcnetwork.co.jp/ir/irmail/

投資家情報 ▸▸▸ IRメール配信



会社情報

会社概要

商号	アイ・ティー・シーネットワーク株式会社 ITC NETWORKS CORPORATION
本社所在地	〒150-6026 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 26F
設立	1997年8月
資本金	2,778,442,500円
従業員数	4,344名
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

役員

*社外取締役　**社外監査役

代表取締役社長	井上　裕雄	常務執行役員	大澤　雅弘
取締役副社長 執行役員	佐藤　正人	常務執行役員	松本　博
取締役専務執行役員	金子　信幸	常務執行役員	中田　伸治
取締役常務執行役員	村田　充	常務執行役員	石井　彰
取締役	新宮　達史*	常務執行役員	目時　利一郎
取締役	安藤　一郎*	常務執行役員	保坂　卓二
常勤監査役	柴田　信治	常務執行役員	小日向　光男
監査役	遠藤　隆**	常務執行役員	釜山　英一
監査役	阿部　紘武**	執行役員	渡辺　元
監査役	松村　一三**	執行役員	古島　史隆
		執行役員	羽山　孝弘
		執行役員	田中　常弘
		執行役員	森下　大二郎

株式情報（2013年3月31日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	153,600,000株
発行済株式総数	55,923,000株
株主数	5,703名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊藤忠商事株式会社	26,996,000	48.27
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社	11,184,600	20.00
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,400,000	4.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,318,200	2.36
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,173,300	2.10
株式会社光通信	785,000	1.40
ITCネットワーク社員持株会	549,786	0.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	484,200	0.87
資産管理サービス信託銀行株式会社（年金信託口）	414,100	0.74
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	380,700	0.68

株主メモ

事業年度：　毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：　毎年6月開催
基準日：　定時株主総会　毎年3月31日
期末配当　毎年3月31日　　中間配当　毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号　三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）　0120-782-031
※2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となっております。
証券コード：　9422
公告方法：　電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
（公告掲載URL）http://www.itcnetwork.co.jp/reports.html

諸手続きに関するご案内

▶ **住所などの変更手続きについて**
住所、氏名、配当金振込口座などの変更は、お取引の証券会社にお申し出ください。

▶ **未受領の配当金について**
未受領の配当金は三井住友信託銀行にお申し出ください。

本株主通信に関するお問い合わせ先

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
経営企画部IR課
03-5739-3702（9:30～18:00）

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C006410
Non-VOC INK
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。